

# ほくと

2008  
Vol. 13

## 議会だより

### ゆきも友達



### 12月定例会



市内スキー場にて

議案と審議 ピックアップ	.....P2 ~ 4
委員会レポート	.....P5 ~ 6
視察研修報告	.....P6 ~ 7
市長の行政報告	.....P8
各会派代表質問	.....P9 ~ 16
一般質問に13人	.....P17 ~ 23
【声のひろば】8人	.....P24 ~ 25
北杜市ウォッチング	.....P26

平成十九年北杜市第四回定例会は、十二月十日から十二月二十一日までの十二日間の会期で開催され、市長行政報告をはじめ、条例制定一件、条例一部改正五件、補正予算八件、指定管理六件、同意七件、その他三件、計三〇件について審議し、いずれも原案のとおり可決・同意しました。

このほか議員発議による北杜市議会議員の定数に関する条例の制定一件他、意見書二件は可決され、また請願五件を審査のうち、二件は採択され、ほか三件は不採択となりました。代表質問は五会派、一般質問は十三人の議員が登壇しました。

## 学校給食センター建設費3億円など

# 5億8933万円を増額補正

### 削減求める修正案は否決

## 一般会計補正予算

十九年度一般会計補正予算  
(第四号)

五億八、九三三万円を増額し、予算総額は二八七億四、〇六三万円となりました。

給食センター建設費減額修正案は否決

一般会計の補正予算(第四号)に対して、市民フォーラムから学校給食センター建設費三億一〇五万円を減額する修正案が提出されましたが、審議の結果、賛成少数のため否決されました。



地産地消・旬産旬食で心豊かな杜づくり

## 平成19年度一般会計補正(第4号)

歳入(財源)

歳出(使いみち)

(単位:千円)

科目	金額	科目	金額
市税	1億7,800万0	議会費	123万8
地方交付税	4,041万9	総務費	4,272万8
分担金及び負担金	64万7	民生費	991万8
国庫負担金	2,468万4	衛生費	1億3,241万7
国庫補助金	6,911万4	農林水産業費	2,236万8
県支出金	1,821万2	商工費	1,761万3
財産収入	160万2	土木費	5,078万6
寄付金	8万6	教育費	3億0,493万2
諸収入	177万4	災害復旧費	981万4
市債	2億5,480万0		
<b>歳入合計</b>	<b>5億8,933万8</b>	<b>歳出合計</b>	<b>5億8,933万8</b>

### 22人 議員定数を削減

議会改革等調査特別委員会の報告に基づき、議員定数を次回一般選挙から現在の四二人を二二人に削減する定数条例を議員発議により、制定しました。

これに併せて常任委員会の所管事務を見直す条例改正も可決、平成二十年三月一日から施行することになります。

### 条例の制定・改正

#### 「環境保全基金」を設定

・北杜市環境保全基金条例の制定  
平成二十年四月一日から北杜市の環境を保全するために企業や市民から協力金や寄付をいただきその管理運営を適切に行うための条例制定。

・北杜市職員給与条例の一部を改正する条例

平成十九年人事院勧告に伴い、若年層に限定した給料の改正、扶養手当支給額の五〇〇円引き上げ、勤勉手当を〇・〇五月引き上げる一部改正。

・北杜市国民健康保険税条例の一部を改正する条例

国民健康保険法施行令等の一部を改正する政令に伴い、平成二十年四月から六十五歳以上七十五歳未満の世帯の国民健康保険税について年金から特別徴収されること等による一部条例改正。

・北杜市下水道事業審議会条例の一部を改正する条例

市長が設置する附属機関である北杜市下水道事業審議会の委員の構成が

ら「市議会の議員」を削減する一部条例改正。

・北杜市甲斐駒ヶ岳七丈小屋条例の一部を改正する条例

燃料費の高騰及び他の山小屋の利用料金との均衡を図るため、利用料金の見直しを行う一部条例改正。

・北杜市駐車場条例の一部を改正する条例

長坂駅前駐車場の敷地の拡張及び日野春駅前駐車場に隣接する駐車場用地の一部が道路用地になったことに伴う駐車場の地番変更。長坂駅前利用形態の変更に伴う利用料等の改正。

### 特別会計補正

(単位：千円)

国民健康保険特別会計 ・償還金ほか	2億5,860万0
介護保険特別会計 ・包括的・継続的ケアマネジメント支援事業費ほか	415万3
簡易水道事業特別会計 ・職員給与費	59万2
下水道事業特別会計 ・公共下水道整備事業費ほか	203万1
農業集落排水事業特別会計 ・職員給与費	247万5
辺見診療所特別会計 ・職員給与費	220万8
ケーブルテレビ特別会計 ・一般管理費ほか	1,636万5

### 12月定例会の 会期日程

- 12月10日(月) 開会
- ・本会議
- 市長行政報告
- 議案説明
- 議案審議
- 12月12日(水) 全員協議会
- 12月13日(木) 総務常任委員会
- 12月14日(金) 文教厚生常任委員会
- 12月17日(月) 建設経済常任委員会
- 12月18日(火) 全員協議会
- 12月19日(水) 本会議
- 代表質問
- 12月20日(木) 本会議
- ・一般質問
- 12月21日(金) 本会議
- 議案審議
- 閉会

# ケーブルテレビ・名水公園など 6件の指定管理者を導入

地方自治法と市条例の規定に基づき、市の公共施設の運営管理について、民間の指定管理者を指定する議案6件が提案され、全会一致で可決しました。

<ul style="list-style-type: none"> <li>・北杜市有線テレビ放送施設</li> <li>・北杜市インターネット施設</li> </ul>	(株)ネットワーク北杜(仮称) 高根町村山北割3261	平成20年4月1日～ 30年3月31日
<ul style="list-style-type: none"> <li>・白州・尾白の森名水公園</li> </ul>	(株)アルプス 昭和町西条2799	平成20年4月1日～ 25年3月31日
<ul style="list-style-type: none"> <li>・北杜市小淵沢総合スポーツセンター</li> <li>・北杜市小淵沢東スポーツセンター</li> <li>・北杜市小淵沢B &amp; G海洋センター</li> </ul>	北杜体育施設管理運営(株) 長坂町大八田6811-187	平成20年4月1日～ 25年3月31日
<ul style="list-style-type: none"> <li>・北杜市武川運動公園</li> <li>・北杜市武川テニスコート</li> <li>・北杜市武川体育館</li> <li>・北杜市武川弓道場</li> </ul>	武川スポーツ公園管理組合 武川町宮脇1351-4	平成20年4月1日～ 25年3月31日
<ul style="list-style-type: none"> <li>・小淵沢町生産物直売・食材供給施設</li> <li>・小淵沢町農林漁業体験実習館</li> <li>・小淵沢町地域資源活用総合交流促進施設</li> <li>・スパティオ小淵沢(リフレッシュビレッジこぶちさわ)</li> </ul>	(株)スパティオ小淵沢 小淵沢町2968-1	平成20年4月1日～ 25年3月31日
<ul style="list-style-type: none"> <li>・小淵沢町大滝高齢者活動・生活支援促進機会施設</li> </ul>	(株)りほく 葦崎市一ツ谷1895	平成20年4月1日～ 23年3月31日

## 請願

採択 2件

・身体障害者に対する駐車場禁止除外指定の基準の対象者を除外しないよう求める意見書の提出を求める請願

請願者 山梨県身体障害者連転者会  
会長 川手 薫ほか

・教育予算を拡充し、教育の機会均等及び水準の維持向上を図るための請願

請願者 北杜市PTA連合協議会  
会長 小泉 徹ほか

不採択 3件

・後期高齢者医療制度に関する請願  
他に同じ主旨のもの2件

## 人事同意

4件

教育委員

小林 仁一  
(小淵沢町)

長田よし子  
(明野町)

監査委員

秋山 元紀  
(須玉町)

公平委員

皆川 羊子  
(高根町)

固定資産評価審査委員

田中 智明  
(長坂町)

小澤 善司  
(武川町)

幡野 福馬  
(明野町)

## 市長専決処分 事項の指定

地方自治法の規定により、市長が専決処分できる事項を指定するもので、一、法律上市の義務に属する損害賠償で、その額が一件につき一 万円以下のもの。  
二、市が当事者である和解で、一件につき一〇〇万円以下のもの。  
これについて予算を定めること。  
全会一致で可決

## 訴えの提起

市営住宅の立ち退きおよび家賃支払いを求める

大泉町および須玉町の市営住宅の家賃を滞納し、再三の督促にも応じない居住者二人に対して、立ち退きおよび家賃の支払いを求める訴訟を提起するもので、これに応じない場合は上訴し、分割納入等により完納する旨の申し入れがあった場合は和解するものとする。  
全会一致で可決



いつまでも生きがいを

# 委員会レポート

## 審議のあらまし

**総務**

常任  
委員会

付託された条例改正一件、継続中の請願一件を審議した。条例改正は原案を可決、請願は採択した。

北杜市職員給与条例の一部を改正する条例

問 北杜市のラスパイルス指数が上がると思うが、  
答 十八年度は九三・三で、十九年度の速報値は九三・八である。  
問 人事評価をすると、ラスパイルス指数が上がるのか。

答 運用により指数に差が出るが、人事評価がそのまま上がるわけではない。  
問 今回の改定は、官民格差を解消するためのものか。

答 そのとおりであり、給料表の改定は九年ぶり、全員賛成で可決。

請願5号 身体障害者に対する駐車禁止除外指定の基準から、従前の対象者を除外しないよう求める意見書の提出を求める請願

意見書の提出先に県の公安委員会を付け加えることで、全員異議なく採択すべきものと決定した。

**文教**

常任  
委員会

付託された条例改正二件、請願四件（うち一件は継続中）を審議した。

条例改正は原案を可決、請願は一件を採択、三件を不採択とした。

北杜市国民健康保険条例の一部を改正する条例

問 市内の六十五歳以上七十五歳未満の方の年金徴収で特別徴収と普通徴収はそれぞれ何人ずつか。  
答 六十五歳以上七十五歳未満の方は六、五五九人で、うち国保加入者は五、三〇〇人であるが、特別徴収と普通徴収の人数は、現在調査中。  
問 解説書のようなものはないのか。市民に分かりやすく知らせてほしい。  
答 大きな制度改正なので、周知していきたい。  
問 対象者に十分周知されず、影響等が分からない中で結論を出さなくてはならないことに対し、どう思うか。

答 国の決定が遅いため、業務の推進も大変だが、二十年四月にあわせ事務処理中である。  
賛成多数で可決。

北杜市下水道事業審議会条例の一部を改正する条例  
全員賛成で可決。

請願6号 教育予算を拡充し、教育の機会均等及び水準の維持向上を図るための請願  
全員賛成で採択。

請願2・7・8号 後期高齢者医療制度に関する請願  
百人を超える請願者の要望を重く受け止め、慎重に審査しました。その内容については左記のとおりです。

反対意見

「請願事項の内容について今の時点で慎重に精査すべきである」また「少

子化により若い人の負担が余儀なくされるから、私たちの世代で何か対策をしなければならぬ時期にきている」「これからの高齢化社会に対応する制度である」「別建ては、法律の根拠であるが、法律を変えてまでやれという強い意志があるのか」という意見がありました。  
賛成意見  
「年齢で差別するような医療制度に疑問がある」「国保の医療制度では、診療報酬は、出来高払いであるが、この制度では別建てになり包括支払い方式となり医療・保険の適用に制限がかかる」「この制度を改め、手厚い形をとることが必要であると共に、意見書は修正し提出するべきだ」などの意見が出されました。  
起立採決の結果、「継続中の請願2号」は賛成少数により不採択となりました。次に、「請願7・8号」においても、賛成少数により不採択となりました。



親切、丁寧な対応を

# 委員会レポート

## 審議のあらまし

**建設 常任  
経済 委員会**

付託された議案一件、  
条例改正二件を審議し、  
原案を可決した。

市道路線の変更  
問 道路の残地部分ほど  
うなるのか、市で管理す  
るのか。

答 法定外道路となり市の所有となるが、市道と同様な管理はできない。

問 下蔵原川久保観音線は台帳上の幅員が二五メートルとなっている。現況では四メートル以上あるが、

答 道路台帳上の数値で記載しており、見直しをしていく。

全員賛成で可決。

北杜市甲斐駒ヶ岳七丈小屋条例の一部を改正する条例

問 燃料代が高騰し、営業が厳しい状況では、

答 管理者が非常に努力してくれている。

全員賛成で可決。

北杜市駐車場条例の一部を改正する条例

問 長坂駅前駐車場の料金の収納先は、

答 指定管理者の北杜市商工会が徴収し、市へ納入金として納めている。

今年度の予定額は三七〇万円。

問 県道葦崎・茅野線の拡幅工事により北杜高校の生徒の通学に危険はないか。県への働きかけは、

答 二〇一一年までの計画で歩道整備を実施する。早期整備を県に要請する。

問 工事期間も長いので、安全対策に十分配慮してほしい。

答 区画線も含め、安全対策は県に要望する。

全員賛成で可決。

### 議会構成の一部変更

議会運営委員が  
変更になりました。

保 珍彦 英子	坂本 篠原 渡邊	元久 治年 茅野光一郎 内田 俊彦	小林 坂本 内田	壽昌 俊和 昭 眞清	清水 秋山 内藤 篠原
------------	-------------	-------------------------	-------------	---------------	----------------

( =委員長、 =副委員長)

## 委員会の 視察・研修報告



活躍する路面電車(富山市)

### 総務常任委員会

委員長 篠原 珍彦  
研修日程 10月9日・10日

### 拠点集中型のコンパクトシティ先進地

導的手法による。

【富山県富山市】  
平成十七年に七市町村合併により人口約四二万人の新富山市となる。

・ 基本方針は、鉄軌道などの公共交通を活性化させ、その沿線に住居、商業、業務、文化など都市機能を集積し、拠点集中型の低コストで利便性の高いコンパクトな街づくりに取りくんでいる。進め方は規制強化でなく誘

納運動  
六十五歳以上で運転に不安を抱える高齢者が自主的に運転免許証を返納した場合、バス、電車などの利用費を市が支援する事業。十八年度の返納者は五八三人。

### 中越沖地震

### 災害の経験に学ぶ

【新潟県上越市】

本市とは交流都市

・ 七月十六日発生の新潟県中越沖地震災害の被害実態と経験や、防災対策について学習する。職員参集など、災害時にはマニュアル通りには動けない。衛星携帯電話の重要性を認識。災害時こそ共助の精神が必要。

・ 北杜市からの支援派遣見舞金に感謝される。

## 文教厚生常任委員会

委員長 秋山 俊和  
研修日程 11月20日・21日

## 議会運営委員会

委員長 清水 壽昌  
研修日程 11月7日・8日

## 議会広報編集委員会

委員長 鈴木今朝和  
研修日程 10月29日・30日

### 民間委託と指定管理のノウハウを学ぶ

学校給食センター

市立多摩病院

#### 【神奈川県綾瀬市】

人口約八万人  
平成十七年に学校給食センター二施設を統合、現在一施設で小中学校十五校九、〇〇〇食を調理している。調理、配送は一般競争入札で民間委託（三年契約）、コストダウンに成功している。業務員数六七人、配送車は七台。

#### 【神奈川県川崎市】

・学校法人聖マリアンナ医大を指定管理者として運営（契約期間三〇年）病床数三七六。総合医療情報システムを構築。平成十八年度の患者数は一日平均七一〇人。医師、看護師確保には苦勞している。「職員の意識改革が経営改善の決め手」

#### 【三重県志摩市】

五町合併による新市人口約六万人  
・議会の情報開示のため、平成十八年度にAPS方式による会議録のインターネット公開システムを導入、業者に委託管理している。経費は年間約三〇〇万円。  
・議会一般質問を、終了

#### 【三重県伊賀市】

一市三町二村合併による新市。人口約一〇万二千人。  
・地方分権による市民役の実現に向けて、伊賀市自治基本条例に基づく「議会基本条例」を平成十六年に制定した。議会と議員の活動原則、市民と議会の関係、議会と行政の関係、自由討議の原則、政務調査費、議会事務局体制、議員の政治倫理、身分と待遇などを十章にわたって規定している。本市においても早期制定の必要性を痛感した。

#### 【石川県内灘町】

人口約二万六千人  
・議員数十六人（法定二十六人） 広報対策特別委員会五人。

#### 【石川県津幡町】

人口約三万五千人  
・議員数十八人（法定二十六人） 広報調査特別委員会六人

### 全国的に高い評価の2町議会広報に学ぶ



意識改革が改善の決め手



タイムリーな議会放映

・年四回、発行部数一万七〇〇部。  
・平成元年から延べ一三回全国コンクールで入賞。  
・編集方針は「読んでもらえる広報」で、動きのある表紙写真、町民の関心が高い記事を分かりやすく、一方通行でない広報を心がけている。  
・編集は委員会が全権を持ち、質問の要約は編集委員が分担執筆、全委員がパソコンを通じて同じ画面を見て編集。最終編集委員会には議長出席。  
・討論の要旨と議員名、議決の賛否数まで明記。当局答弁のその後を追った記事を掲載している。

・年四回、発行部数一万二二一〇部。議会終了後二十日で発行。  
・全国コンクールでは毎年上位に入賞。  
・編集方針は「議会や行政の動きをすばやく、正確に伝える」を基本に、公平・中立、一歩踏み込んだ個性ある編集、短く分かりやすい文章、見出しや写真も多くし、余白を活用している。  
・一般質問の「問」は質問者が定例会初日までに提出、「答」は編集委員が要約執筆。一議員一ページ二問まで、一問一六五字。議決の賛否数、請願は不採択の理由まで掲載。全委員がパソコンで原稿作成。題字は小学校児童から募集。



# 12月定例会 白倉市長の行政報告

市の財政は、歳入面では地方交付税や臨時財政特別債が引き続き減少し、歳出面では老人医療や介護保険に要する経費等の、義務的経費の増加が見込まれ、一段と厳しい財政運営が予想されます。地方自治体は、行財政基盤を強化し、自己決定・自己責任の下で、自治体運営をしていくことが求められます。財政状況の厳しい中ですが、「北杜市総合計画」の着実な推進を図り、「人と自然と文化が躍動する環境創造都市」の実現に向け、市民の皆様の期待に応えていきたいと考えています。

## 市政三面の課題

### 1 名水サミット・イン・北杜

全国名水百選に選ばれている市町村の関係者など、五百人の参加があり、大会宣言や水の重要性・水環境の保全をアピールしました。

### 2 市制施行三周年記念

十一月一日に行われた式典では、市政に功績のあった個人・団体の表彰や、市の代表的な景観を定めた「北杜二十四景」の発表を行いました。

### 3 環境保全協力金制度

企業や市民の皆様から

環境保全協力金という形で寄附をいただき、森林整備や水資源の確保など、市の環境保全のための事業に充てていきます。

### 4 抱川市との姉妹都市結縁調印

十一月に韓国抱川市ポチョンから市長や議員、民族芸術団などの文化交流代表団が来訪され、結縁再調印を行いました。今後も交流に努めていきます。

### 5 北杜市女性議会

四三名の女性による模擬議会が十一月十四日に開催されました。市政や市議会、女性の社会参画

に、大きな関心がもたれることを期待しています。

### 6 公の施設の指定管理者の指定

現在、九五の指定管理者が一三〇施設を運営しています。今後も六施設を予定しており、効率的な管理やサービスの向上の一層の活用を促進します。

### 7 有料広告の掲載

広報誌やホームページなどで公募を行い、「広報ほくと」、市ホームページ、封筒等へ有料広告を掲載していく考えです。

### 8 北杜市障害者等フルタイム緊急支援事業

休日・夜間に障害者に急を要する事態が発生したとき、フルタイムで支援できる専門の事業者を委託し、支援体制を強化していきます。

### 9 大規模電力供給用太陽光発電系統安定化等実証研究

十一月下旬から太陽光パネルの設置工事に入り、監視計測室・受電施設等

の工事を行い、二月頃からデータ収集等の実証研究を開始します。

### 10 北杜市就職ガイダンス

十一月七日に須玉ふれあい館で、「第一回北杜市就職ガイダンス」を開催しました。

一一九人の求職者の来場があり、今後も継続して取り組みます。

### 11 企業誘致

日本ブランド農業事業協同組合(ジェイバク)に、企業等振興支援指定書を交付しました。来年三月末に完成が予定されています。

### 12 リトリートの杜推進事業

官民協働での「癒しの空間」づくりを目指し、北杜市が「企業戦士の福利厚生」の場となるよう、全力を挙げて取り組みます。

### 13 風林火山館

十二月はじめまでに五二万人が来館しました。

今後は来館者の減少に伴い、臨時職員の減少と毎週火曜日を閉館し、経費削減を図ります。

### 14 中部横断自動車道

政府は十年間の道路指標の指針となる「道路の中期計画」を策定する予定で、長坂八千穂間の整備計画区間格上げが前進すると期待します。

### 15 まちづくり交付金事業

長坂地区、清里駅周辺地区、小淵沢駅周辺地区とも順調に進捗しており、小淵沢支所の北側の巨摩跨線橋架け替え工事も基本設計が終了し、J Rとも協議中です。

### 16 (仮称)北杜市学校給食センター

「学校給食センター設計検討委員会」を設置し、現場の意見を反映させ、基本・実施設計が完了。平成二十一年度からの供用を目指しています。



# 12月 定例会

## 代表質問

12月定例会では会派を代表して  
5人の議員が質問に立ちました。  
これはその要約です。

**議員構成** 会派の構成が一部変わりました。

### 北杜クラブ

秋山 俊和	浅川富士夫	小林 保壽
坂本 重夫	清水 壽昌	鈴木 孝男
田中 勝海	茅野光一郎	千野 秀一
利根川 昇	保坂多枝子	古屋 富藏
宮坂 清	渡邊 英子	

### 北清クラブ

坂本 治年	風間 利子	坂本 静
内藤 昭	中嶋 新	中村 勝一

### 市民フォーラム

小林 元久	鈴木今朝和	小野喜一郎
五味 良一	岡野 淳	野中真理子
篠原 眞清	小林 忠雄	

### 政経会

篠原 珍彦	小澤 宜夫	渡邊 陽一
秋山 九一	坂本 保	浅川 哲男

### 公明クラブ

細田 哲郎	小尾 直知	内田 俊彦
-------	-------	-------

### 無会派

植松 一雄	中村 隆一	林 泰彦
小澤 寛		

## 環境保護を問う



政経会  
小澤 宜夫

ほか5件

問 経済産業省と環境省が募集する「省エネコンテスト」に、市内の小・中・高校生の参加の取り組みは。また、全国名水サミツ

トの開催で、水資源の保護・涵養の機運は高まっている。「環境保全基金」の協力金の寄附が順調にいくよう、具体的な有効利用を。

### 答 環境保全対策を積極的に推進

市長 豊かな自然環境を良好に次世代に引き継ぐことは、共通の責務だ。この制度の趣旨に賛同いただいた企業などから、環境保全協力をいただいたもので、森林保護事業、水資源保護のための下水道整備や、湧水、河川などの水質調査、環境教育の充実や山林の環境パトロールなど、保全事業に幅広く活用していきたい。



生活環境部長 省エネコンテストは、一人一日一キログラムのCO2削減

子育て支援に積極的に取り組む企業などを認定するマーク「くるみん」

### 問 産業基盤である農業対策を

多くの人が農業にか

のチャレンジ宣言を行い、家庭や学校で二週間以上実践した取り組み方法や、アイデアを募集するものだ。コンテストを通じて、全国に情報発信することは意義あることで、児童生徒や学校を中心に参加し、地域や家族の協力の中で実施する方向で、教育委員会とも協議していきたい。

かわりを持てる、地域にあった農業を育てていくことが大事だ。規模のバランスのとれた、後継者が後継できる具体策について。

また、農産物の個別価格保障は、小規模農家の多い市の農家には大事で、「武川米」「梨北米」はブランド確立が進み、高価格、高付加価値品として取り引きされている。大豆、麦、そばについてもあわせてその対策は。

**問** 総合的な農業振興対策を講じる

産業観光部長 個人農業者育成の、北杜市担い手育成総合支援協議会を立ち上げ、二四人のアクションサポートチームを設置した。このチームが核となつて今後、後継者が生まれることを期待している。

個別価格保障は合併以来、市の単独助成により大豆、麦、そば、飼料作物、花豆を奨励品目として、全農業者を対象に行っている。十八年実績で四七六二万円、本年度も引き続き実施している。JA梨北と連携した特別栽培米は、今年度七三ヘクタール作付けがあった。引き続き推進していきたい。

**問** 少子化対策は

産婦人科の開設は、国が推進している次世代育成支援対策推進法に基づく認定企業が増加している。市内での現況は、

**答** 職場と家庭を両立できる環境を整備

市長 韮崎市に助産院が一元所ある。市内の受診者は県中部の医療機関を利用している。近隣の地域と協力し、医師派遣について要望していきたい。

市内事業所では一社が行動計画策定の届出をしているが、認定申請は現在検討中とのこと。ワークライフバランスを重視した環境づくりを進め、今後も啓発していきたい。

**問** 市職員について

旧八町村の職員は、合併時と比べどの程度の減員か、人件費は。臨時職員は。また、職務も含め、今後の予定は。

**答** 職員数の削減に努める

総務部長 職員数は十九年四月一日現在八三九人で、十八年三月の旧小淵沢町合併時から五〇人の減。人件費は四八億四、七〇〇万円で、一億一、九〇〇万円の増。退職組

合負担金が二億三、九〇〇万円増加したため。嘱託臨時職員数は、それぞれ三八人、三〇六人で、わずかに減少している。臨時職員の報酬、賃金等は、十八年度決算額五億一、四〇〇万円で、二、二〇〇万円が削減されている。

現在、定員適正化計画に基づき、削減に努めており、必要最低限の配置として、臨時職員の抑制にも努めている。市民サービスの低下、将来に不安を感じないよう、適切な職務の執行に取り組んでいきたい。

全国で八八団体ある類似団体との比較については、本市は普通会計の職員数(企業会計を除く)六二三人で、人口一万人当たりの職員数は、一、二四・二六となつている。全国で一番多い市は新潟県佐渡市一九五・七人、最低は栃木県真岡市六一・四人。ちなみに県内では二市あり、笛吹市七六・七八人、南アルプス市が八九・〇四人となつている。

**問** 下水道事業は

下水道の公共枴へのつなぎ込み促進、融資斡旋制度の活用状況も含め、前年度と比較して、どの程度推進が達成されているか。

**答** 環境意識の向上に努める

生活環境部長 下水道普及率は浄化槽整備まで含め、九四・四％。水洗化



そば打ち体験

**問** 市税の徴収は

市税の徴収率アップ対策について。専門性が増す徴収業務に対する今後の方針は。

**答** 市税徴収を強化

市長 市税の初期滞納の抑制と、長期化・高額化滞納の整理を進める。タイヤロック等、予告通知書の送付も行った。悪質な滞納者には、財産調査など徴収取り組みを強化し、来年度設置される市町村と県で構成する山梨県地方税滞納整理推進機構へ参加し、市税の徴収強化に努めていく。

# 後期高齢者医療制度 発足に伴う市の対応は

ほか6件



市民フォーラム  
五味良一

問 新制度の市民への説明は十分か。

保険料負担額の決定と通知予定は。

市独自の軽減措置は。滞納者に短期保険証を発行するのか。

医療内容の低下、負担増が憂慮されるが、個々のケースへの説明は。

入院規制が既に行われているが、入院および退院後の相談支援体制は。

市立病院の療養病床削減割り当ては。

市立病院の在宅医療における役割は。

保健師に不足はないか。独居老人の退院後の対応は。

**答** 万全の体制で臨む

市長 広報誌、リーフ

レット等で周知を図る。

二十年、二十一年度の均等割額は三万八、七〇〇円、所得割率が七・二八と決定。特別徴集の仮徴集が四月、本徴集は十月、普通徴集は七月に通知。

市独自の軽減措置は設けない。悪質な滞納でない限り短期保険証は交付。制度内容は、広域連合や市窓口で説明、診療内容は医療機関で説明。保健福祉部長 入院規制はしていない。市立病院や包括支援センターが相談支援する。

市独自の軽減措置は設けない。悪質な滞納でない限り短期保険証は交付。制度内容は、広域連合や市窓口で説明、診療内容は医療機関で説明。保健福祉部長 入院規制はしていない。市立病院や包括支援センターが相談支援する。

塩川病院は、併設の訪問看護ステーションと連携、甲陽病院は、近隣開業医と連携し支援を実施。現体制で、対応可能。

独居老人が増える傾向にある。在宅医療、介護と一緒に考えながら、それぞれの独居老人を訪問し、安全確保のために努力する。

保健計画の進捗状況と数値目標は。

総合健診における、生活習慣病の個別指導受診率と改善度および課題は。

ガン検診等の位置づけは。

保健師の職場環境は。

保健福祉部長 県の数値目標等を考慮、二月に策定予定。

**問** 保健事業について

保健計画の進捗状況と数値目標は。

総合健診における、生活習慣病の個別指導受診率と改善度および課題は。

ガン検診等の位置づけは。

保健師の職場環境は。

**答** 計画的に推進する

保健福祉部長 県の数値目標等を考慮、二月に策定予定。

受診者一万二、一三七人中、個別指導が必要な者が四一％、特定保健指導が必要な者が二四％。受診率は八〇％。改善度は半年後に評価。

ガン・骨粗しょう症・歯周疾患検診は継続実施。適正配置、改善に努力。

小中学校適正規模等審

**問** 学校の適正規模と耐震化計画は

小中学校適正規模等審

議会の組織状況は。適正規模についての教育委員会の基本認識は。小中学校の耐震化率は。耐震化の日程は。

**答** 適正化、耐震化ともに取り組む

教育長 公募二名、地

区代表、PTA連絡協議会正副会長、校長会代表の委員により、十二月第一回審議会を開催。一学年二クラス以上、クラス人員は二〇人程度。耐震化率は八六・五％。来年度の審議会答申を受け、工事を進める。

耐震化率は八六・五％。来年度の審議会答申を受け、工事を進める。

**問** いじめ、不登校、虐待について

いじめの現状と対策は。不登校の現状と対策は。関係機関との連携は。虐待相談窓口と虐待防止ネットワークについて。

**答** 関係機関と連携し対処

教育長 いじめは、昨年、小学校三校で六件、中学校三校で四件。市教委指導主事と学校が緊密に連携し早期発見、指導に努め、県教委のスクールカウンセラーを活用した相談体制により、効果を挙げている。

不登校は、七月末現在、小学校六校で九名、中学校八校で二九名。学級担任の家庭訪問、コスモス教室へ通級等の提携も実施。

保健福祉部長 児童虐待の通告先として市が位置付けられた。相談員が現状確認し、切迫したケースは安全確保の手続きを取る。市要保護児童対策地域連絡協議会等と連携し対処。



適正化・耐震化を望む

**問** 地域委員会について

出席率が低くはないか。地域の声を集約していないとの批判について。議論が予算配分やイベントに限定されていないか。運営要綱に問題は。

「空家バンク」の情報収集を委員に担わせているが、趣旨に反しないか。

**答** 市民の声を反映させる

市長 出席率約八〇％

運営上の支障はない。

市民の声を反映しやすい仕組みだが、地域の意見交換の機会も設けたい。

厳しい財政状況下、必要に応じ要綱を見直す。

白州地域委員会から提起があり、趣旨に反しないと判断した。

**問** 職員の処遇について

施設職員の過不足は。保育士に臨時職員が多い理由は。臨時職員の処遇改善状況は。

**答** 改善に努める

市長 適正に配置している。

合併後、退職者が一四名あり、増加した。

保育士、栄養士などの有資格者の賃金を見直す。

研修に派遣し、技能と意欲の向上を図っている。

**問** 上下水道事業の今後の方向性は

水道事業定期見直しは。

況は。

スキルアップは。



介護のありがたさのなかで

下水道事業の見直しは。下水道使用料統一の計画は。

下水道事業は、現行使用料で継続可能なのか。

**答** 見直しも必要

生活環境部長 需給予測、収支計画、建設計画をほぼ三年で見直す。

簡易水道委員会に諮り、原案を得る。

効率、透明性向上のため、事業評価をする機関。

特定環境保全公共下水道事業は見直す。農業集

落排水事業は、平成二十三年に完了。区域外は、合併浄化槽へ補助金を交付。

公営企業経営健全化計画の基本方針に盛り込む。

料金は一㎡当たり一四二円、経費は七二五円。

料金改定の必要がある。

市有財産の管理と処分は

ほか4件



公明クラブ  
内田 俊彦

問 市は行革アクションプランに基づき市有資産

施設の管理と活用の見直しや廃止、民間への売却貸付などを進めている。

資産台帳の管理は一元

化しているのか。

利用度の低い施設を処分する基準は。

未活用施設はどの把握しているか。

十九年度に処分を予定

している資産の件数と内容は。



ゆっくりとりフレッシュ

**答** 年度内に土地の売却処分を予定

企画部長 市公有財産管理規則により、行政財産は各主幹部長が、普通財産は企画部長が管理している。

台帳は道路などを除き財政課が管理しており、現在電子データに移行作業中。

利用度の低い施設は、地域の実情など総合的に判断して普通財産に移行し、普通財産の処分基準に従い、原則的に一般競

争入札で民間に売却している。

統廃合の一環として、老朽化した施設を中心に調査し、担当課が対応を検討している。

宅地を中心に、希望者が見込まれそうな土地を絞り込んでいる。年度内には入札を実施したい。

**問** 指定管理の現状とあり方は

指定管理により市の管理費が一億六千万円削減されたが、今後の管理費

および市への納入金はどのように推移すると考えているか。

指定管理施設は、各担当部署の管理下にあるが包括的な管理体制に移行すべきでは。

**答** 黒字施設は二二二件

市長 一三〇件の指定管理施設の維持管理費は老朽化等で今後増える見込みである。指定管理料を支出して収支が黒字の施設などが平成十八



次はわたしの番よ

年度には二二施設あり、次期の指定管理料を見直したい。

一三〇施設の包括的管理移行は組織的、人員的に難しい。当面は現状で対応したい。

問 第三者評価制度の導入と、審議評価のホームページ上の公開は。

答 現在、担当部局で評

価し、ホームページで公表している。

問 リトリートの杜事業

との方針・方向を一致させ、横断的に管理統制できる新しい組織の構築は。

答 トータル的な管理については、貴重な意見として組織、機構の見直しの中で十分参考にさせていただきます。

問 「総合評価落札」の  
新入札方式の導入は

国は従来の価格による自動落札方式に代わって、価格以外の要素も総合的に評価して落札者を決定する新方式を推進している。評価の体制や技術者事務経費など難しさもあり、市町村では導入が遅れているが、地域の事業者の地元貢献度を評価する必要もあり、導入を検討すべきでは。

答 難しいが検討は  
していく

市長 価格だけでなく工事の効率性、安全性、環境への配慮など、工事の品質などの要素を総合的に評価する新入札方式はメリットがある。しかし市町村では体制が弱く、導入した市町村は全国で三九団体しかない。県も技術的支援を考えているが、市としても一般競争入札や電子入札などと併せて、総合評価方式も検討していきたい。

問 五歳児健診の  
導入が必要

現在乳幼児健診は、母子保健法により〇歳・一歳半・三歳となっており、児童の発達障害は早期発見が大切で、就学前健診では遅く、適切な対応が難しい。発達障害の疑いがあると診断された児童の半数以上が、三歳児健診ではなんら異状がなかったという報告もある。五歳児健診の導入を推進すべきではないか。

答 検討していきたい

市長 五歳児健診には一定の意義があると思う。平成十七年度十月から、「すくすく相談」の中で一歳児から六歳児までを対象に、臨床心理士による相談を実施しており、市内の保育所では保育士と保健師による健康支援に取り組んでいる。現在実施している健診の向上とフォロー体制を強化するとともに、五歳児健診を実施している市町村の効果をふまえて検討していきたい。

問 避難所指定校の  
防災機能整備を

屋外・屋内のトイレ、防災倉庫、備蓄倉庫、貯水槽、浄水装置、自家発電装置などが必要だが、現在の整備状況は。

地域防災施設の整備には、文科省、消防庁、国交省、自治総合センターなど各種の事業支援、交付金などの制度があるが、本市が学校での防災機能整備に活用している制度と施設は。

学校以外で地域防災拠点、避難所として整備している施設の様子は。

答 体育館の耐震  
改修はほぼ終了

総務部長 避難所として二三小中学校の体育館とグラウンドを指定している。体育館とグラウンドにはトイレが設置しているが、貯水槽、浄化装置、自家発電装置は設置していない。備蓄倉庫は本庁と各総合支所に設置し、防災資機材として浄水器、給水車、給水タンク、食料品、ガス釜、毛

布、日用品など七〇品目を備蓄している。

国交省のまちづくり交付金事業により今年度、小淵沢中学校の体育館には、四二〇人が避難生活可能なアリーナと地下に約一〇〇m<sup>2</sup>の防災備蓄倉庫を備え、緊急時に備えた施設になった。

耐震補強、改修は文科省の公立学校施設整備事業により順次計画的に実施し、明野小を除いて終了している。

学校以外で避難所として指定されている施設は公園、テニスコート、ゲートボール場など二〇カ所。

福祉避難場所として保健センターなど七カ所があり、学校とおおむね同様の設備である。市の防災施設として、長坂町の緊急遮断弁付配水池七カ所、白州町・武川町の飲料水兼用耐震貯水槽三基、水防倉庫七カ所がある。釜無川・塩川流域は過去に甚大な水害を受けているので、一時避難場所や集合地として空き地、公民館、公園などを指定してある。

## 平成二〇年度 予算編成の基本方針は

ほか4件



北杜クラブ

古屋 富藏

**問** 実質公債費比率は一九・四％と昨年度より悪化して、県下十三市の中でも突出しており、財政状況は厳しい。二十年度の予算編成は事務事業を徹底的に見直し、事業の必要性、緊急性、効果等を総合的に検討し、メリハリを付けた予算編成が求められる。予算編成の基本となる方針を、数値目標を含めて聞きたい。

### 答 厳しい予算要求 シーリングを設定

市長 厳しい財政環境の中でも、北杜市総合計画を着実に推進し、市民の期待に添えていかななくてはならない。二十年度の予算編成は、これまで以上に事業の成果や施策の優先度を厳しく精査し、

財源を重点的、効率的に配分する。総合計画推進に必要な新規事業はシーリングの枠外で積極的に要求するよう指示した。

### 問 (観光)リトリート の杜推進への提言

自然や郷土についての学習会の計画は。

観光地の樹木や草花、昆虫など、動植物の名前が分かるよう名札を付ける計画は。

風光明媚な北杜市へ海外の観光客を受け入れるための体制および海外への観光宣伝の計画は。英語、中国語、韓国語の観光パンフレット作成の考えは。

市は縄文時代からの遺跡分布が豊富で、本年度も七力所の遺跡調査が行

われた。遺跡調査の現場博物館や遺跡を見学する長期滞在型の観光コースを企画しては。

### 答 地域コンシェル ジュ育成を具体化

市長 コンシェルジュ養成マニュアルができ次

第、具体的な養成に向けたスケジュールを計画したい。

動植物への名札付けは各方面に広く協力を求めながら、官民共同して取り組みたい。

外国人向けの観光案内板などの施設や人の整備



みんなで名札を付けました

が急務である。県の観光キャンペーンに参加するとともに、市独自の観光PRも展開したい。外国人向けの市政要覧は作成済みだが、観光パンフレット作成も検討したい。

### 問 安心・安全のまち づくり推進を

防犯灯の設置基準と希望申請数、年次計画の数と予算は。

「限界集落」が、国交省の調査で一九集落あるが、全域にわたる実態調査の状況は。

限界集落再生のため条例の制定など多くの課題がある。そのスケジュールは。

独居高齢者が犯罪に巻き込まれないための指導および災害時の避難対策は、どの機関がどのようにしているか。

### 答 実態を調査し 対策を

総務部長 防犯灯の設置希望数は昨年度、今年度も四一一件、既設の防犯灯の老朽化による交換申請が二年間で八四件。設置基準は防犯灯設置管理要綱により、区長の申請により設置。予算の範囲内で昨年度一六〇基、今年度二〇〇基を購入して対応している。ほかに東京電力から昨年度三〇基、今年度二五五基の寄贈を受け配布した。

戸数の少ない集落は市内に二四地区ある。今後詳しく調査して社会的共同生活が困難な集落かどうかを検証していきたい。

高齢者が犯罪に巻き込まれないよう、警察署など関係機関と連携し広報などで啓発や指導をしている。災害直後の避難、救助は自主防災組織など地域の共助が重要だ。

**問** 市教育研究会の設置を

全国学力調査の分析果をふまえ、学んだ知識の活用を重視する視点から、市内の小・中学校をどう指導していくか。北杜市教育研究会を設置し、教育課程や指導方法の研究を深める必要があるのでは。本市の栄養教諭配置はゼロだが、食育の指導はどうしているか。家庭教育学級を開設して、食生

活改善と規範意識の高揚を図っては。

**答** 教育研究会は本年度設置する

教育長 全国調査の結果について個別面談、三者面談で提供して、適切な指導、助言をするよう各学校を指導している。学級、学年についてはその傾向や課題を明らかにして改善策を講ずる。教職員の研修や情報交換、事業に取り組む組織として北杜市教育研究会

**問** 企業誘致の現状と対策は

誘致の現状は。地元雇用の状況は。誘致に向けての環境整備は。地域と誘致企業との交流は。

**答** 市長がトップセールスとして

市長 すでに立地した六社に続いて七社目に指図書を交付し、来年度中に三社の誘致企業とIT関連の一社が本社を北杜市においてスタートする。操業開始した六社の従業員数は三〇八人で、うち市民の採用者は一八三人、五九・四%である。企業誘致の窓口として昨年度に商工課を新設した。

市長自らトップセールスとして、積極的に企業の訪問活動を展開している。

現在の固定資産税免除の期間三年間を五年に、本社機能を有する企業にはこれを更に延長することも検討し、平成二十年

度から施行したい。多くの誘致企業が地域のイベントや、環境美化活動にも積極的に参加、協力いただいております。今後は地域の交通安全や伝統文化事業

などへの参加を働きかけていきたい。



多くの誘致企業を

国民文化祭への取り組みは



北清クラブ  
風間 利子

ほか2件

問 第二十二回国民文化祭が二〇一三年に山梨県で開催されることになった。山梨県は過去五回、各県の国民文化祭に参加してきたが、本県での開

催は北杜市を全国に知ってもらうよい機会だと思います。

市としての取り組みは。北杜市の文化祭は今までは展示物だけだが、各

**答** 地域文化協会・団体の振興を推進

教育長 国民文化祭は、近年の出演者数は約三万人、出演団体は約二千団体、事業数は六七から一五を数えており、最大

地域で競つての発表会などを行い、国民文化祭に参加できるよう今から心がけるべきだが。これを機会に国民文化祭に向けて、新しい方法で各町の文化協会の育成をすべきでは。

二級の文化行事である。二〇一三年の文化の日を中心に十日前後となり、県内市町村のほとんどが開催地となる。実施事業は平成二十二年度に決定する。分野別事業の開催に向けて、十九年度から二十一年度にかけて地域の文化団体、文化協会等への働きかけ、各種目の事業や各開催地の特色ある事業が開催できるよう、推進を図っていききたい。これを機会に地域の文



国民文化祭(平成19年徳島阿波おどり)

化協会のさらなる充実と、新たな文化の創造を図っていききたい。

**問 地方税滞納整理と推進機構への参加は**

山梨県は地方税の滞納率がが高く、徴収率は全国最低レベルの危機的状況である。県は市町村が共同で滞納者の財産差押えなども行う推進機構を立ち上げるが、本市としてこれに参加する考えは。

市は十七・十八年度の滞納整理に努めたが、その徴収率と課題、今後の対策は。

住宅使用料の滞納は何戸で、金額はどのくらいになるのか。また今後の取り組みは。

**答 推進機構に参加する**

市長 地方税滞納整理推進機構は、二十年度から三年間設置されるもので、県職員六人と一九市町村から各一人の派遣職員およびアドバイザーとして弁護士、国税OB、警察OBで構成される。業務は市町村に対し、高

額滞納案件や、機構への引継ぎ案件の処理についてのアドバイスをを行うほか、必要に応じて市町村職員と共同して財産調査、差押え、公売等の滞納整理を実施する。

本市もこの機構に参加し、市税の滞納整理に努めていきたい。

総務部長 昨年七月から三カ月間、県職員三人の派遣を受け、市職員と共同して滞納整理に当たり、預貯金、給与の差押えを執行し一七八万円を徴収した。本年度も五月と七月に夜間臨戸徴収を行い、一五七万円を徴収、八月と十月には夜間電話催告を、十一月と十二月にも夜間臨戸徴収を実施した。

タイヤロックによる自動車税の滞納徴収予告通知により、六人の滞納者から九〇万円の納付や分納があった。今後も悪質なケースには財産調査や差押えをして、徴収率の向上に努めていきたい。建設部長 住宅使用料の滞納整理は、前年度と比較して徴収率で一六・六

%、徴収額で五八〇万円余の増加となっている。滞納額が高額で誠意が見られない五件に対し、明け渡し訴訟の準備を進めてきたが、うち三人は家賃の全額納付や分割納付の誓約をしたので、今議会に二人の訴訟を提案した。

昨年度の滞納家賃徴収率一八・三%を二五%に伸ばすことを目標に取り



はやく芽が出て欲しいなあ～（体験農地）

組んだ結果、本年十一月現在で二八・七%、徴収額八四三万円と前年同期を上回る成果を上げた。

**問 リトリートの杜づくり事業の振興**

観光は、本市の産業の柱だが、宿泊者数は観光客の割に過ぎない。

従来型の観光旅行誘致活動では、癒しと健康を求める都会の新しいライ

フスタイルと、観光ニーズに応えることはできない。

北杜市は六月に長期滞在型リトリートの杜宣言を行い、推進委員会では、市商工会、キープ協会、

JTBが中心となつて事業体を立ち上げた。官民共同による画期的な事業である。

北杜市の知名度向上の対策は。

滞在型施設としての空き家、古民家の発掘は。観光と農業の連結、市民農園（クラインガルテン）などの体験農地（貸付農地）の確保は。

市のコンシェルジュ（情報提供、旅行者の受け皿、案内人）養成対策は。

**答 北杜市を全国に発信していく**

市長 北杜市を全国に発信するための施策として、風林火山館の建設、大規模太陽光発電実証研究事業、NHKのご自慢、全国名水サミット、全国に先駆けてのリトリートの杜宣言など、話題性の創出に努めてきた。

観光協会と連携して都内・横浜・名古屋への観光キャンペーン、旅行社へのトップセールスも積極的に行ってきた。市民のご協力に感謝している。来年四月からの山梨ディ

ステイネーションキャンペーンや、フィルムコミッションなどにより知名度アップを図り、先に選定した「北杜市二十四景」に代表される市内の自然と文化、風景などのPRに努めていきたい。

本年九月に「空き家情報登録制度」を創設したので、今後は定住促進と地域活性化を目指し、努力していきたい。

市の広報紙などを通じて市民農園など体験農地の確保に努めていきたい。貸付け農地は農地法上の問題もあるので、関連する部局が連携して対応したい。

コンシェルジュ養成のためのマニュアルづくりを進めており、完成を待つて専門家による研修会の開催に向けて検討していきたい。



# 市民参加のまちづくり 景観づくりは



中嶋 新

北清クラブ

ほか1件

問 市民参加による市の将来像・まちづくりがスタートした。その方向性を問う。六名がまちづくり研究会・景観研究会に重複参加し、積極的に行政と協働している。組織と活動の状況、まちづくり基本計画、景観計画の策定期は。市民アンケートで集約した意見の活用策は。研究内容の公開と全市民の理解と協働は。

# 12月 定例会 一般質問

12月定例会では、13人の議員が一般質問に立ち、23項目について市の考えをたきました。これはその要約です。

## 二十一年度 計画を策定

市長 まちづくり研究会は二五名、景観研究会は三五名。市民の意見を反映させる。来年度は、二カ月に一回程度開催してコンサルタントの意見を参考に、北杜市の実態に沿う計画を二十一年度に策定予定。各種の行政計画の立案資料とする。都市計画は、開発規制、土地利用を明確化して、景観計画によ

り付加価値の高い自然環境を構築する。



歴史と文化が薫る白州の  
台ヶ原宿

まちづくり計画リニューアルや景観研究会瓦版をホームページや本庁と支所の窓口で公開する。

## 入札制度の改革は

問 指名競争入札の選定と予定価格の基準は。一般競争入札の実績と課題、次年度の対応は。電子入札の導入に向けての課題は。

## 共同し

## システムを構築

市長 希望業者をラン

ク付けをして、条件を満たす業者を指名選定委員会で選定。予定価格は、実例や各種条件、地域実情を考慮して決定。就業促進住宅の建設など三件で試行した。来年度は、少し幅を広げて試行を検討中。電子入札には、県下の市町村で共同した場合、システム構築に約四億円以上の経費が必要。早期導入に向け働きかけている。

## 道路・橋梁の耐久調査が必要



ほか1件

内藤 昭

北清クラブ

問 アメリカのミシシッピ川にかかる高速道路の橋梁崩落事故は、世界中に大きな衝撃を与えた。鉄骨やコンクリートの橋や道路は、永久に安全のような錯覚があった。

答 全国で道路・橋梁の耐久度調査に取り組んでいるが、北杜市は面積が広く、道路延長も長く橋も多い。

調査の状況は、市道で補修、補強、架け替えが必要な道路、橋梁の数は、



開通はいつ？

須玉支所西の氏神橋は、交通止めになっているが見通しは。

## 学校給食センター建設について



中村 勝一

北清クラブ

問 学校給食センター建設については、多くの議論と日数をかける中で、

答 紆余曲折はあったものの、整備検討委員会の答申を尊重し、旧穂足保育園跡地へ二千食規模での建設が決定し、今議会へ約三億円の予算が計上された。設計について、学校現場、調理員、栄養職員などの意見をどのように取り入れたか。

衛生面の完備はもとより、調理する人の顔が見える厨房見学コース、災害時の炊き出し設備など、特色ある設備は、調理、配送、アレルギー

食など、多くのニーズに対応するための人の配置は。

各校のコンテナ保管場所、配膳室の衛生管理も大切、児童生徒と職員と一緒に食事ができるランチルームも必要だが、どのようにするのか。

### 安全・安心に万全の施設と管理

設計について、調理員、栄養士、配送担当、設計事務所など十五人で構成する給食センター設計検討委員会で議論した内容を持ち帰り、各自の立場で研究を重ねるなど、検討した結果を実施設計に反映している。

衛生面はドライシステムで万全を期しており、施設の見学コースや労働環境に配慮した配置、設計になっている。災害時に備えて通常の五倍の米を備蓄できる倉庫、自家発電装置や四二トンの受水槽が設置されている。

アレルギー食の対応は牛乳については実施して

おり、アレルギー源を除去する専用の室も設けられている。栄養士は二人を配置、調理員は一人が〇〇食の基準で配置する。

栄養教諭の配置は引き続き県教育委員会へ強く要請していく。

配送を受けるプラットホームや配膳室が未設置の学校もあるが、配送を受ける時期までには衛生面を考慮し設置する。

ランチルームも各校と協議して検討していきたい。

公募で市民の関心や愛着を深める考えは。

公募も含め愛称を取り入れていく

市長 補助事業などの関係で、長く難しい名称のものがあるが、数は把握していない。

今後公募もふくめて市民の声を聴き、愛着や関心を持てるような名称にしていきたい。

### 予防的な長寿命化計画に転換

市長 主な橋梁について、現在点検しており数値も調査中。本年度一五〇橋の台帳を整理し、損傷度、耐久性、耐火力の各診断調査をまとめ、これを基に長寿命化修繕計画を策定し、事後的な修繕から予防的な修繕、架け替えに転換していく。

氏神橋は早急に架け替えを検討していく。

### 公共施設に分かりやすい愛称を

問 「大規模電力供給用太陽光発電系統安定化等実証研究施設」など長くて分かりづらい名前前の公共施設がたくさんある。たとえば、「高根町長坂ふれあい支援農道」を「カンスケ道路」のように、市民や来訪者にも親しまれ、呼びやすい愛称を付ける考えは。

長く分かりにくい名称はどのくらいあるか。

公募で市民の関心や愛着を深める考えは。

公募も含め愛称を取り入れていく

市長 補助事業などの関係で、長く難しい名称のものがあるが、数は把握していない。

今後公募もふくめて市民の声を聴き、愛着や関心を持てるような名称にしていきたい。

# 農業振興策について



小林元久

市民フォーラム



大変な畦畔管理

問 市の基幹産業である農業は、高齢化と後継

者不足で将来が危惧されている。北杜市は中山間地として畦畔が多く、管理には相当な労力を費やしている。省力化の実現で規模拡大、担い手の集積を加速させられるが、所見は。日本の食生活は、欧米型、ファーストフード型に様変わりした結果、生活習慣病の増加等の問題を招いた。食文化の見直し、食育の推進について。合併以来、農業基盤の構築を目的として、一九

## 農業基盤の強化に取り組む

市長 農業の規模拡大により、畦畔管理に費やす労力がかさみ、円滑な

の集落営農組織や農作業受託組織が作られ、八組織が法人化された。全国的にも先進的な取り組みといえる。担い手の確保、農地集積が進み農業生産は拡大しているが、販路拡大などについての現状と、今後の取り組みは。

規模拡大にブレーキがかかるのも事実。県農業総合技術センターの協力のもと、省力化技術実証事業が実施できるよう、準備をしている。地域の活性化は、住民の健康状態の維持向上にかかっている。市民全体を対象にした食育の推進を図るため、十一月に庁内プロジェクトチームを発足させ、具体的な取り組みを協議している。担い手の永続的な経営安定を実現するため、契

約栽培の拡大、新たな地域への販売戦略を講じる必要がある。核となるべきJA梨北との連携を強化し、本年度は、阪神大阪地区へ梨北米のPR活動をを行い、一部企業からの反響があった。十一月には、市内の農産物を中心に洗浄、包装、出荷する日本ブランド農業事業協同組合(ジェイバッグ)の進出が決定した。消費者のニーズにマッチした販売対策を講じていく。

# 小淵沢駅周辺地区まちづくり 交付金事業は

ほか2件



野中真理子

市民フォーラム

問 巨摩跨線橋整備事業費が、五億円から十億円に膨らんだ理由は。他事業への影響は。駅舎建替えの結論は。駅前広場、駅前通り整備のスケジュールは。

## 駅舎改築は JRと合意済み

市長 JRとの協議の中で、電気設備費等が盛られた為、減額になる事業もあり、予定通り実施できると思う。駅舎改築を北杜市と合

同で進めることは、JRも了承済み。スケジュールは厳しいが努力する。駅前広場整備は駅舎建替えと同時に実施。駅前通りの整備は来年度実施予定。

## 通学路に防犯灯を

問 小淵沢中学校脇の新市道は、通学で使う生徒の居住区ではない区の間だが、防犯灯の設置はこの道路に限らず、通学路の安全の見地から、設置の判断をすべきでは。

## 区で設置・管理を

総務部長 道路照明の予定はない。要綱に基づき地元区で設置・管理を。文化財保護計画は

## 文化財保護計画は

問 神田の大系桜の保護計画は。茅葺き屋根の保護は。案内板の管理は十分か。大系桜の樹勢回復工事を実施予定

## 大系桜の樹勢回復 工事を実施予定

教育長 大系桜には防風ネットを設置。検討委



美しい姿をいつまでも

員会を設け、二十一年度以降、樹勢回復工事を行う。平田家住宅(国重要文化財)では日常的に火を

焚いて茅葺き屋根の保護を図っている。調査して傷みの目立つ案内板から修繕していく。

## ジビエを地域資源として活用を



植松 一雄

無会派

問 野生鳥獣害に国会は被害を受ける市町村が、主体的に対策を講じられる特別措置法案を可決済み。

県では、農林業被害などで駆除捕獲される野生鳥獣を、地域の貴重な資源として捉え、ジビエとして特産品化するため、山梨県ジビエ活用連絡協議会を設置した。鹿、猪などは法的に、と畜場で解体処理できないため、個別に処理されるが、食材としての安定供給や衛



ジビエ料理の一例

生確保が問題となっている。鹿肉は極めてヘルシーで市場のニーズは高く、

北海道と長野県、岩手県が出荷、奥多摩町が特産品とするも、流通のほとんどは海外の冷凍肉である。

県は、富士東部と峡北地域に、ジビエの販売店と料理店を指定し、処理加工施設の設置を計画。すでに富士河口湖町は、総事業費三、二六〇万円

光地を中心に指定販売店と料理店を確保し、観光振興に資するべきで、処理加工施設は市内捕獲頭数の七五%を占める白州・武川地区に設置を、鹿と猪の昨年度捕獲数は、北杜市二三一頭、中北管内は一、九〇〇頭で稼働効果は発揮される。よって、以下質問する。

指定店の確保は、加工施設の設置は、ブランド化を展望した方針と具体策は、

**本市として取り組み可能か検討する**

市長 県は本年度事業で、衛生処理ガイドラインの制定や、利用促進で畜産マッチングフェアの開催を予定しているが、これを通じて販売店と料理店を把握し検討する。

県と連携を図る中で、峡北地域での広域的な施設整備も含め検討する。

県の検討結果を踏まえ、提供を希望する施設の状況を見て支援する。

## (仮)横針～下井出線 新設について

ほか1件



岡野 淳

市民フォーラム

問 横針下井出線の財源は。財源確定はいつか

中部横断自動車は、北杜市の観光産業にどのような影響があるか。自然環境や景観へどのような配慮を求めているのか。

地域自立活性化総合支援制度の事業計画の根拠は。市としての要望は。

### 主要道として位置づけ

市長 県営農村地域活性化農道整備事業で計画し、補助率は七〇%、市

の負担は三〇%。今月中には確定する予定。

通過型観光が助長されないよう、リトリートの杜づくりを進めることにより、長期滞在型観光の推進に努めてきた。環境に十分配慮し、景観と調和のとれた道路となるよう、要望したい。

建設部長 この計画は美術館や博物館へ観光客を誘導する目的で、特定の美術館等からの要望ではない。市民、NPOや各種団体などから要望を

受け付け、積極的に県と協議を図りたい。

### 中部横断自動車道は

問 中部横断自動車道の想定されるリスクはないのか。また、景観、自然環境に対する影響が危惧される。市民の声を吸い上げる場が必要では。

### リスクゼロではない

市長 リスクゼロではないが、市内ヘイインターチ

エンジを造りたい。環境アセスなど慎重を期し、北杜市長という立

場で、そういう意見を尊重したい。



下井出接続地点付近

## 食品の安全と衛生について



ほか1件

利根川 昇

北杜クラブ

問 食品安全基本法が制定され、内閣府に食品安全委員会が設置されてから四年になる。

食品の安全と衛生について国・県・保健所との連携は。

市の体制は。また、専門部署の設置は可能か。

家庭の情報源の九〇％は、マスコミとの調査結果が出ている。正しい情報の方を指導する必要がある、方策はあるか。

家庭での手洗いの奨励のために、手洗いチェツ

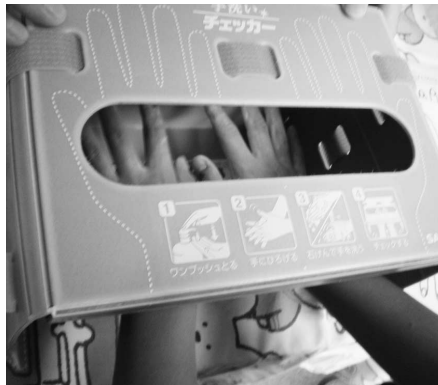
カーの導入はできないか。

**関係機関と連携し努力**

市長 担当者会議や研修会参加と、月一回の情報交換をしている。

食品安全は農政課、衛生は健康増進課が担当し庁内の横の連絡を図る。専門部署設置は、県が担当している。

ホームページや広報誌へ掲載するなど



きれいに洗えたかな  
(手洗いチェッカー)

の努力をする。  
親子の食育教室などで、積極的に努力をする。

清里駅前再開発事業の進捗状況は

問 JR、山梨交通の土地買収と移転は。駅前広場の造成工事の開始予定は。

国道141号清里信号エントランス緑地は。市道清泉寮線一九〇mの改良と歩道に関し、地権者との交渉の具合は。市道吐竜の滝線八〇〇mの予定は。

順調に進んでいる

建設部長 JRの用地買収は終了。山梨交通は補償契約済みで、三月までに建物を取り壊す。

二十一年度に整備する。三月中旬の完成予定。事業説明して協議中。来年度着工見通し。

## 国保税の引き下げと資格証明書発行は



ほか2件

中村 隆一

日本共産党

問 高すぎる国保税の引き下げを求める。

短期保険証・資格証明書の発行はしないこと。

失業者や病気で所得が減った人から保険証を取り上げないようにできないか。

**国保の健全化を**

目指す

市長 県内一三市では、低いほうから三番目で、決して高くはない。資格証明書は発行してない。

滞納対策上、短期保険証を活用し、納付を求めている。

所得減等で通常納付が困難な被保険者には、分納等の相談にのり、短期保険証も活用する。

小学校六年生まで医療費助成を

問 子育て支援策として、医療費助成制度の対象年齢を、小学校六年生まで引き上げることができないか。

現行通りとする

市長 現在、通院は五歳未満、入院は就学前まで児童の基礎体力づくり、傷病予防の取り組みを推進し、現行通りとする。

映画「日本の青空」の不可解な決定は

問 市の後援決定を覆した理由は。市の後援要綱に問題はないのか。

憲法第九九条、公務員の憲法擁護義務に照らし、市の後援は当然ではないのか。

問題はない

総務部長 当初から、後援決定はしてはいない。特定の主義、主張の浸透を図るものに該当すると判断して、後援しないことを決めた。

公務員の憲法遵守は当然であり、後援不許可がこれに抵触するとは考えていない。



子供は宝

## 人事評価制度の導入は どうなったのか



茅野 光一郎

北杜クラブ

問 市町村合併、地方分権、三位一体の改革など、社会が急速に変化し、行政も多くの改善や改革を迫られている。人事評価制度も、ようやく各自治体が実施するようになってきた。この制度は職員の業績や能力・態度を評価し、階層別に分類し昇給や賞与の額、昇任・昇格や人事異動に反映するものだが、本市では計画されていない。また実施されていない。そこで、以下の点について伺う。

## 中部横断道(長坂～八千穂間) 整備計画格上げは



田中 勝海

北杜クラブ

問 国交省は道路整備の中期計画素案を示した。中部横断自動車道、長坂～八千穂間の三四キロは、基本計画路線から整備計画路線に格上げはされていない。基本計画では四車線、設定速度八〇キロで計画されていたが、暫定二車線での整備も採用しながら、早期にネットワーク機能を確保する区間に選ばれたと報道された。これが実現すると、観光また産業での幅広い経済効果が期待できるが、

以下の点について市長に伺う。

今後の取り組みと決意は。

市内通過がもたらす波及効果、また問題点は。

中部横断道を利用した一般道の、地域間アクセス道を新設する考えがあるか。

連携強化し、早期実現に取り組む

市長 長坂～八千穂間の三四キロは、全線で唯一の未着工区間で基本計

画のままだった。国交省が示した中期計画の素案

全線開通が待たれる八ヶ岳パーキングエリア



画のままだった。国交省が示した中期計画の素案

で、早期にネットワークの機能を確保する方策が示され、整備計画に向けて前進したと考える。

来年開催予定の、国土開発幹線自動車道建設会議において整備計画決定に向かつて、関係四県と連携を強化し、国交省や関係機関に強く要請して早期実現に向け取り組んでいく。

産業振興、災害時の代替、緊急輸送、地域医療サービス、物流の効率化など、地域への大きな期

待ができる。

道路はネット化が大事だ。反面、環境保護や景観への配慮を考える必要があり、環境アセスメントや、影響調査をする予定である。

基本計画はルートが不明確だが、今は整備計画への格上げに全力を傾注する。

像が大切だ。

人事評価の試行状況を十分検討し、職員の処遇に反映していきたい。制度に対する職員の理解、認識が大前提で、信頼と納得が得られる客観性や、透明性を持った制度にする必要がある。

初年度構築から試行の準備段階まで、総費用として四〇〇万円程度が見込まれ、職員研修に限定した場合の経費は一〇〇万円程度かかる。

### 北杜市民憲章

- 一人が自然を守り育て、美しい社をつくります。
- 一 教養を高め、文化のおおむねを築きます。
- 一 安全を安心して暮らせる平和なまちづくりに努めます。
- 一 健康で思いやりに満ちた、やさしい社を目指します。
- 一 働くことに喜びと誇りをもち、豊かな社をつくりま

北杜市のこころ

人事評価制度は、管理職を含めた全職員を対象にどう実施するのか。この制度導入により、かかる経費は。

### 検討組織を立ち 上げ来年度試行

市長 公務員制度改革により、公務員の定員削減、年功的な給与構造の見直しが求められており、一部先進自治体では実施や試行がされている。

事例研究、調査・研究に時間を要し、制度の構

## 交通安全対策と 道路環境整備



ほか1件  
**宮坂 清**  
北杜クラブ

問 中央自動車道の通行止めによる渋滞の、迂回路の具体策は。  
日野春駅前通りの通字路の安全確保は。  
交通量が多く狭い道路の安全対策は。  
市内の状況把握と今後の取り組みは。  
安心して観光できる交通安全対策は。  
高速道路沿線の防音対策の現状は。  
商店街、市街地の交通安全対策は。

安全確保で  
計画策定へ

市長 中央自動車道の渋滞解消として、ハケ岳西麓広域農道への接続等富士見町と相談する。県発注の工事、歩道を確保して施工する計画。神田の大系桜周辺は、シーズン中交通規制、歩行者保護を図っていく。騒音にかかる環境基準等を参考に、要望する。地元要望を踏まえ、歩行者の安全確保、バリア



早期計画を

フリー対策に配慮する。建設部長 危険場所は

現地調査を行い、緊急性費用対効果を検証し対応する。

ひまわりの花のブランド化は

問 ひまわりはほとんどが観賞である。鑑賞後の利活用で、総合的価値観での利活用策を図り、ブランド化する考えは。

多目的利用を図る

市長 ひまわりは、北杜市のシンボルとして広く普及する。

利活用は食用油、バイオディーゼル燃料の利用とも、今は採算面で困難。市内二施設で、資源循環の仕組みを構築する実証実験に着手。推移を見守りながら、多目的利用も図りたい。

## 指定管理者制度について



ほか1件  
**鈴木 孝男**  
北杜クラブ

問 指定管理者制度を法的に見たとき、現状のあり方でいいのか。今は協定書や年次協定書で管理契約を結んでいるが、場合によっては「契約書」を交わす必要があるのではないか。

指定管理者との  
契約は不要

市長 条例で指定管理者の指定手続き、指定管理者が行う管理の基準および業務の範囲等を定める必要がある、それぞれの

設置条例で規定し、指定管理を行っており、契約は不要である。

観光について

問 市で選定した二十四景の内、武川米とその田園風景」に、武川米を育んだ源流として、大武川渓谷を含めることはできないか。  
大武川に棲む魚の保護と、河川の経済的利用について市の考えは。  
真原の桜並木の舗装道路を車両が通行すること

により、木の根が傷み、排気ガスなどで年々弱っている。バイパス道の設置など、市の対応は。

北杜市の魅力  
アピールに努力

市長 田園風景の中に、大武川の清流の美しさも水清きというふうには解釈していただきたい。すでに選定が終わっており、多くの方に北杜市の魅力をアピールしていきたい。国土交通省が砂防工事の一環として、護岸工事

などの河川改修を施工しており、長年にわたる工事が平成二十一年に完成予定だ。経済的利用については、民間で計画があれば、協力したい。

真原の桜並木は、可能な限りの対応を行いたい。



北杜市をPR



北杜市議会だよりでは、毎回市民のご意見・ご要望などさまざまな『声』を掲載しています。今回は8人に執筆していただきました。

### みんなで 地産地消を



大泉町

鎌田みどり

私たちのまち北杜市には田畑が多い。私の家は横浜から引越してきたので農業はしていないが、田植えや稲刈りの景色から、いつも季節を身近に感じることが出来る。しかし、北杜市民が日々目にする田畑で採れる野菜や米を食べることは意外に少ないのではないかと。私の家では地元産の米や野菜を毎日食べている。新鮮でおいしいし、何より作っている人を近くに感じられる。現在日本では、食糧自給率の低下が叫ばれる。農業の盛んな北杜市だからこそ、地産地消を意識することが必要だ。そのためには野菜の直売所を増やしたり、学校給食に地元産のものを取り入れたりするべきだ。そうすれば市民だけでなく、観光客や、移住を考慮する人にも興味を持ってもらえるだろう。また、大人だけでなく子どもにも地元産のものを定着させていけば、農業従事者が減少する現状の改善につながると思う。

地産地消は北杜市の大きなアピールポイントになり、ひいては市のさらなる発展につながるはずだ。(中学二年)

### 先達に感謝



武川町

小澤数彦

農業センターの二階に、「蘇大地の碑」と記された石碑がある。形の悪い猫の額ほどの田圃が圃場整備により蘇生の大地と変わり、機械化された今の農業を誰が想像したでしょうか。また、下水道も隣町より早く恩恵を受け、都会並みの快適な暮らしのできる今の環境を、勇気ある先達の英知の賜物と感謝せずにはいられません。

東北では、お米が六十キロ一万五千円前後の安い価格で、大型機械化農家が悲鳴をあげて大騒ぎしているときに、なんと驚いた、我が町の村の駅では、農林四八号が玄米三十キロで一万四千七百円で売られている。卸値と小売の違いはあるが、東北の倍の値段だ、すごいことですね。

先達の永年にわたる日夜・朝暮に品質管理に徹した努力と、地道なイベント等を通し、PRした結果が消費者の皆さんに理解され、今日があると

思います。地方に厳しい時代、行政に携わる皆さん、先達の精神で北杜を頼みます。

### もったいない 空き家や休耕田



白州町

松尾興一

白州町下教来石に古民家を購入し、須玉町江草経由で横浜から移住してきました。よろしくお願いいいたします。

北杜市は緑多く水清く清々しい空気が、そして温かい方々。しかし北杜市の悩みの一つに過疎化が挙げられ、空き家情報登録制度等の対策も実施されています。確かに空き家、休耕田畑が見受けられます。空き家の中には手を加えれば住める家もあり、実にもったいない。移住希望者のお試し宿泊や、宿泊貸農園などに活用できれば、過疎地の活性化が図れるのではないかと思います。

しかし一方、空き家持ち主の立場に立つと、見ず知らずの人に家や田畑を貸しても大丈夫か。家の補修費は回収できるのか。不安材料ばかりが気になります。信用ある県や市が空き家持ち主との話し合いをより積極的にし、よきパイプ役としていただけることを期待しています。過疎地で頑張っている方々のため、農地を農地として続けるため、自然を守るために。

最近特に市の財政状況について、いろいろな紙面で目にする機会が多く、市の将来に対する不安が増してくる。厳しい台所事情というと存続の危機にあり、Jリーグのお荷物とまで言われたヴァンフォーレと重ねてしまふ。

### ヴァンフォーレ に続け



高根町

幡野達雄

来期は降格になるが、J1での活躍には大変感動し、励まされた。地元チームというだけでなく、一番少ない資金力で頑張っている点で、応援にも力が入った。選手らの努力もあるが、クラブ組織をはじめ関係者の英知の結集によるものが大きいと思う。

市には、国内有数の恵まれた気候と自然という、何物にも変えがたい財産がある。私もこの恵まれた環境の恩恵を受け、温暖化による異常気象の影響にも大きく左右されることなく、農業を営んでいけることに、感謝の日々である。

議会一丸となり、このような環境を生かしながら、お金をかけずに将来に希望の持てる、北杜市となるよう期待する。



# 声のひろば

## koe no hiroba



伝統をいつまでも

### 北杜市議会に 望むこと



明野町

船窪敏夫

私は北杜市議会に、次の二項目についてお願いします。  
 (一)農業の振興について  
 日本の現状では、個人小規模農は壊滅寸前です。北杜市は県下で最も農地も広く、米・野菜・果実等、昔から農業生産に汗を流してきた地域です。しかし、最近農業者の高齢化、田畑の荒廃が年々進んでいます。北杜市は自然と農業を守る地域でありますよう、お願いします。  
 (二)市内各地域の特色を  
 北杜市は地形等の自然や交通・産業・文化等から、次の三地域から成り立っていると考えられます。ハケ岳南麓地域 釜無川流域 塩川流域  
 この三地域には、ハケ岳 甲斐駒ヶ岳 茅ヶ岳等の山々や釜無川、塩川、ハケ岳湧水等で織りなす景観は、古代人の生活の場でもあり、こんにちそれぞれ工夫された活動が根付いています。オオムラサキ公園 武川米の里 浅尾大根祭り、三分一湧水 清里高原等々、地域の更なる活動を……  
 最後に一言 議会は住民の代弁者としての活躍をお願いします。

### サービスの受け手 から自立へ



小淵沢町

金丸美奈子

平成十九年も国、地方とも財政の課題に翻弄された年でした。しかし、ハケ岳、甲斐駒ヶ岳が織りなす四季折々の美しい眺望に変わりはなく、二つずつ年を重ねるごとに北杜市、小淵沢町のよさを認識させられる場面が多くなりました。  
 合併をして、新しいまちづくりが始まり、関係諸団体の方々も非常に苦労されている様子も耳にします。私たち個人も町に何かをしてもらうのではなく、町、地域のために何ができるかに考え方を改め、自立・自助のまちづくりをしていかなければいけない時代にならなくてはならないと思います。  
 サービスの受け手としての住民ではなく、産業・福祉・医療・教育などに主体的に関わり、自立できるまちづくりを目指すため、私たちもできることから始めます。  
 期待されている議会議員の方々には、他県の事例から多くを学び、研究していただき、この北杜市を活力ある地になるよう、尽力していただきたいと思っています。

### 親父の会が 目指すもの



長坂町

三井一公

皆さんは、「おやじの会」なる名称を耳にしたことがありませんか。おやじの会とは、世代を超えた「おやじ」たちが、地域の小学校の後援活動をしていることとする組織であり、加えて会員相互の親睦を目指したすべてに自主的であり、自由に活動のできる団体です。PTAとは全く異なる組織であり、その数は全国で三千以上に上るといわれています。  
 昨年の十月二十五日に、長坂小学校「おやじの会」が設立され年が経過しました。会員も五〇人を超え、その間、いくつかの事業を実施し、「できる者が、できる時に、できる事をする」を原則に、現在に至っています。  
 年度ごとに担当するPTAを横のつながり、つまり横系とし、世代を超えた「おやじの会」を縦のつながり、つまり縦系として、立派ではなくても、小学校のために役立つ布を織ろうとしています。このような団体もあることを認識していただき、実りある議会運営を期待しています。

### 分かりやすい 議会だよりを期待



須玉町

早川貴代子

甲府市から須玉町に、縁あって嫁ぎました。  
 生活習慣の違いから戸惑いを感じながら、主人を頼りに家のこと、地域のこと、いろいろと教えていただきました。幸いにも長男、次男、長女と三人の子宝にも恵まれ、忙しい日々を送っております。  
 嫁いだころは、一人ぼっちで寂しい思いもしましたが、子育てをしながら多くの人たちと出会い、たまには、主人のあることないこと、井戸端会議しながら、ストレスを解消しています。  
 北杜市は、温かい人柄、素朴な人情味あふれる人が多く、在住していると思いますが、自分の思いだけを踏襲する一面もあると思います。  
 たまに議会だよりを拝見させていただけますが、私のような主婦には理解できない内容が掲載されて、戸惑いを感じます。用語の意味、記事の内容、問題点などを紙面の都合もあると思いますが、分かりやすい情報公開のツールとして、議会だよりを期待いたします。  
 北杜市の発展のために、北杜市議会のご活躍をご祈念申し上げます。

# 北杜市ウォッチング

HOKUTOSHI WATCHING



～冬本番～



ひまわり油できました



今年もやるぞ!!

## 編集後記

市民の皆さまには、健やかに、輝かしい新春をお迎えのこととお喜び申し上げます。

市政四年目を迎え、お陰をもちまして「議会だより」第十三号を発行することになりました。

広報編集委員一同、皆様に読んでもらえる充実した紙面づくりを目指し、心新たに頑張ります。

昨年を振り返りますと、「偽」の一字で代表されるように食品、菓子などの偽装、官庁の収賄談合、家庭内の殺傷事件など、起きてはならない出来事が多かったと思います。

新しい年を迎え、市にとっても、市民の皆様にとっても「真」とか「喜」の一字で表されるような、良い年になりますようお願い申し上げます。

議会広報編集委員会には、これまで皆様から多くのご意見をいただき、心より感謝しています。

これからも皆様からのご投稿、ご感想をお待ちしています。

### 議会広報編集委員会

- |      |       |
|------|-------|
| 委員長  | 鈴木今朝和 |
| 副委員長 | 小澤 宜夫 |
| 委員   | 岡野 淳  |
|      | 坂本 保  |
|      | 新 保   |
|      | 野中真理子 |
|      | 風間 利子 |
|      | 坂本 重夫 |
|      | 利根川 昇 |